

2021年度
事業計画書

自 2021年4月 1 日
至 2022年3月31日

空白頁

2021年度 事業計画書

本年度の事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が予測できない状況の中で策定したものであり、感染の終息状況により臨機応変に対処する計画としている。

I. 委員会活動について

1. 政策委員会

(1) 基本方針

政策委員会は、理事で構成され、「ねじ業界の発展を促進する事業を展開し、会員の体力強化に資する」ために、会員にとって魅力ある事業を推進及び管理すると共に、事業全体を統括する。

6つの委員会及び2つの部会を通じて、さらなる協会の活性化及び会員の利益増進をも図る事業活動を実施する。当面は、インターネットを利用したウェブ会議・講演会を主に実施し、その後の状況を見極めつつ集合活動を展開する。

(2) 重点実施事業

協会並びに業界の活性化を図る為、下記の事業を重点とした事業活動に取り組む。

- ① ねじ製造技能検定制度の協会認定の事業
- ② 会員交流の事業
- ③ JIS 普及促進等を通じた技術振興事業
- ④ 海外ねじ業界との国際交流事業
- ⑤ 協会創立 60 周年記念事業

2. 未来開発・パブリシティ委員会

「この世はねじでできている」を基に締結部品としての「ねじ」の重要性を広くPRして、「ねじ」に対する社会の関心を高め、理解を深めることに注力する。ねじ関連産業に携わる従事者のモチベーション向上に努め更なる地位の向上を目指す。協会創立 60 周年を契機に協会を変革して未来に繋がる体制強化、会員へのアウトプットを確実に目指す。

- (1) 協会ホームページのリニューアルを目指して準備を進める
- (2) コロナ禍に対応して、より強く会員・外部への発信を多くする。
- (3) 会員情報を更にブラッシュアップして発信をする
- (4) 広報活動に付随をして下記の発信をする。
 - ・生産統計、輸出入統計、主要国の貿易統計
 - ・ねじの日（6月1日）の事業検討・推進

3. 資格委員会

ねじ製造技能に対する社会一般の評価を高め、ねじ産業に従事する人々の技能の向上を図るために、ねじ製造技能検定（協会認定）制度として確立するために、ねじ製造技能検定（協会認定）及びねじ製造技能検定講習会の充実を図るなど、以下の事業を実施する。

- (1) ねじ製造技能検定制度確立に向けた検定員によるウェブ会議
- (2) ねじ製造技能検定（協会認定）の充実のため、実機による模擬実技試験の実施
- (3) 1 級、2 級の技能のレベル分けを行った客観的で公平・公正な評価基準の策定

4. 技術委員会

技術力向上、生産技術の継承、変革を推進するため、次の技術振興事業を実施する。

- (1) JIS/ISO に関する事業（ねじ研究協会との連携）
- (2) 技術講習会の開催（ねじ研究協会との連携）
- (3) 圧造技術スクールの開催（旭サナックと共催）
- (4) サポートインダストリー振興事業
- (5) カーボンニュートラル環境対策に関する事業
- (6) ねじ入門書（CD 版）等の頒布
- (7) ねじに関する安全啓発事業

5. 国際委員会

海外ねじ業界との相互交流及び国際協調を図る、以下の事業を実施する。

- (1) 日独交流の進め方
- (2) 海外ねじ専門誌への情報発信
- (3) その他 国際協調及び国際競争力強化に関する事業

6. 取引委員会

下請取引適正化のため、以下の事業を推進する。

- (1) ねじ業界の取引慣行の適正化を促すための事業
- (2) ねじ産業の適正取引自主行動計画の策定とフォローアップ
- (3) 業界別適正取引ガイドラインの周知・遵守運用
 - ・自動車産業適正取引ガイドライン(2020 年改訂)に関する説明会開催 等

II. 部会活動について

1. ソケットスクリュー部会

ソケットスクリューの品質の向上、使用状況などの情報交換を行う。

2. ステンレスねじ部会

ステンレスねじ業界の健全な発展について下記事業を行う。

- (1) 情報交換の実施
- (2) 工場見学会

III. 支部活動について

関東、中部、関西における 3 支部の活動として、感染状況を注視しつつ情報交換の会員交流を実施する。

Ⅳ. 協会創立 60 周年記念事業について

前年度事業から延期してきた協会創立 60 周年記念事業を実施する。

- (1) 記念式典及び記念講演
- (2) 記念誌の発行

Ⅴ. 組織強化活動について

- (1) 協会組織の改革
- (2) 福利厚生に関する事業
- (3) 会員名簿の修正整備
- (4) 関連諸団体との連携